

筑紫野市新型インフルエンザ等対策行動計画 概要版

<p>I. はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成24年5月に「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が制定 ○同法の規定に基づき、「筑紫野市新型インフルエンザ等対策行動計画」を新たに策定 ○対象とする感染症 <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等感染症（感染症法第6条第7項） ・新感染症法（感染症法第6条第9項） 	<p>II. 対策の実施に関する基本的な方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護 ○市民生活及び市民経済に及ぼす影響を最小に 	<p>○対策の効果 概念図</p>	<p>○被害想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・り患率…25%と想定 ・医療機関を受診する患者数 10,500人から19,400人 ・入院患者数 病原性中等度 430人 ・病原性重度 1,500人 ・死亡者数 病原性中等度 140人 ・病原性重度 500人 	<p>○対策の実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野市新型インフルエンザ等対策連絡調整会議 <ul style="list-style-type: none"> ：平時から必要に応じて開催し、発生に備え情報共有・必要な対策について協議 ・筑紫野市新型インフルエンザ等対策本部 <ul style="list-style-type: none"> ：緊急事態宣言時に直ちに設置し、重要事項及び事案対応を協議 <p>※緊急事態宣言がなされる前であっても必要に応じて任意設置</p>
---	--	-------------------	---	---

III. 各発生段階における対策

発生段階		未発生期	海外発生期	県内未発生期～県内発生早期	県内感染期	小康期
		新型インフルエンザ等が発生していない状態	海外で新型インフルエンザ等が発生した状態	患者が発生していない状態～患者が発生しているが、全ての患者を疫学調査で追える状態	患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態	患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている状態
主要6項目	実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ●体制の整備及び国・県・市の連携強化 ●発生に備え、市行動計画、対応マニュアルの策定・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じ、市連絡調整会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●任意又は緊急事態宣言時に、市対策本部の設置 		<ul style="list-style-type: none"> ●市対策本部の廃止（緊急事態解除宣言時）
	情報収集・提供・共有	<ul style="list-style-type: none"> ●国内外の関連情報の収集・分析 ●発生時の広報体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校等での集団発生の把握 ●帰国者・接触者相談センター等について情報提供 ●コールセンターの設置 		<ul style="list-style-type: none"> ●(帰国者・接触者相談センター等の廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> ●(再流行の探知) ●(縮小)
	予防・まん延防止	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な感染対策について理解促進 ●学校・施設等に対し、感染予防策等の啓発 			<ul style="list-style-type: none"> ●県からの要請を受け、学校等の臨時休業等 	
	予防接種	<ul style="list-style-type: none"> ●特定接種・住民接種の接種体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●特定接種の実施 ●住民接種の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民接種の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ●(第二波に備えた対策の実施)
	医療	<ul style="list-style-type: none"> ●地域医療体制の整備に係る県への協力 ●研修、訓練等の県への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●県が実施する帰国者・接触者外来相談センターの設置協力 		<ul style="list-style-type: none"> ●(帰国者・接触者相談センター等の廃止) ●在宅で療養する患者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通常の医療体制へ)
	市民生活及び市民経済の安定の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●要援護者への生活支援体制の準備 ●必要物資及び資材の備蓄 ●業務継続計画の策定 ●火葬能力等の把握 		<ul style="list-style-type: none"> ●要援護者対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●県と連携し、生活関連物資等の提供等）、搬送 	<ul style="list-style-type: none"> ●円滑な火葬の実施